

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・紳士服の新しいブランドを入れてから半年が経過したが、客の定着が良く、新規に来店する客も非常に多くなっている。また、クリスマス関連コーナーも好調である。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・高額な商品の動きは少ないが、買い回り品については、客がいくつも買物袋を持っている光景が目につく。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・特に20～25日の間はケーキなどクリスマス関連の商品が売れているが、客は同時に、多少余分な物も購入している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・店舗改装で売場面積を増やしたせい、来客数が増加している。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・12月も引き続き、AV、映像関係の商品が伸びている。液晶、プラズマの薄型ディスプレイやDVDレコーダーなど、単価の高い商品がけん引しており、販売量も増加しているので、良くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・忘年会シーズンで、通常より週末の人数が多く、金、土曜は2倍近い売上となっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・3か月前と比べると、忘年会シーズンの繁忙期であることから、客数が増加している。一方、深夜は相変わらず伸び悩んでいる。
	変わらない	一般小売店〔金物〕（経営者）	販売量の動き	・年末の駆け込み工事等の需要が若干あるものの、全体の販売量はあまり変わっていない。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・ギフト商品は早期割引の商品しか売れていない。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・青果物の売上は、前年との相場の差が大きいことから10%割れとなっている。一方、生鮮以外の食品は前年を大きくクリアし、全体の売上は前年を2%上回っている。
		スーパー（経営企画担当）	単価の動き	・年末商戦は、福引等を行うことで何とか前年の98%近くまで引き上げたという状態である。お節料理等は単価の低いものはよく売れるが、高いものはあまり売れない。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・トータルコーディネートでのまとめ買いが少なく、お歳暮やプレゼントの需要も減少している。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・来客数はあるものの、金額的な折り合いがつかず、成約には結びついていない。
		乗用車販売店（従業員）	それ以外	・倒産や閉鎖する修理工場、中古車販売店、ディーラーが目立つようになっている。
住関連専門店（店長）	来客数の動き	・来客数に大きな変化はなく、買上点数の伸びもそれほどではない。		
高級レストラン（店長）	販売量の動き	・前年と比べ、忘年会等の予約が約20%減少している。フリーの客も極端に少ない。		
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・忘年会の件数は前年並みであるが、宿泊、お節料理の予約は前年を下回っている。		
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・客が望んでいるツアーコースが空いていない場合、他で妥協することがなくなっている。		
タクシー運転手	来客数の動き	・スキー場に客が来るようになりスキーキャリアをつけたが、スキー、スノーボードを乗せるような客がいない。		
遊園地（職員）	単価の動き	・新規アトラクション導入効果等により、単価は引き続き上昇傾向にあるものの、来客数に過去数年来の勢いが無い。		
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・雪によるクローズがなく好天に恵まれたことから、来場者数は前年を大幅に上回っている。客単価は中旬以降の冬季割引料金設定のため、落ち込んでいる。今年12月31日、1月1日も営業するというコースが増加している。		
競輪場（職員）	販売量の動き	・ボーナスの支給などで一時的に入場者数、売上が増加しているが、前年と比べると減少である。		

	美容室（経営者）	販売量の動き	・カラーリングブームがやや落ち着き、市販の液を購入して自分で染める人が増えているからか、その分売上が減少している。
	設計事務所（所長）	それ以外	・状況はさほど変わらないが、市、県などの仕事が入ってきている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・暖冬で予想以上に冬物衣料が売れず、在庫がはけない。
	百貨店（店長）	販売量の動き	・前年の売上をクリアできない状況が続いている。お歳暮、年賀用品等の売上も今一つである。
	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・上着物、防寒品で動いているのは低単価品である。12月になりお歳暮、ギフトの売上は伸びているが、客単価のダウンが目立っている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・年賀状印刷、クリスマス関連の予約商品により、客単価、売上は増加しているが、来客数は95%と早朝を中心に減少している。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・深夜の若者客を中心に来客数が減少している。また、予約をしていた商品を無断でキャンセルする客が目立ってきている。
	衣料品専門店（販売担当）	販売量の動き	・近隣に大型スーパーが開店した影響で来客数は多少増えているものの、最寄品の販売が定着し、単価が低くなっているため、販売金額が低下している。
	その他専門店 [携帯電話] (営業担当)	販売量の動き	・この数か月は来客数、販売量が落ち込み、ボーナス、クリスマス商戦も成功していない。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・少人数の宴会はあるが、会社ぐるみでの宴会等が少ないので、来客数は例年を下回っている。
	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・新幹線駅周辺に大型ショッピングセンター、飲食関係のチェーン店が出店し、かなりの客が流れている。既存の商店街は影響を受け、来客数が減少している。
	通信会社（社員）	販売量の動き	・12月は第三世代携帯電話の伸びも鈍化し、年末商戦にもかかわらず、来客数が減少し、新規加入数、純増数とも伸びていない。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・地元銀行が破たんした影響で、計画を見合わせる客が出てきている。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・地価の下落が続いており、客はまだ下がると考えているので、分譲地などが全く売れず、チラシを配っても客が集まらない。テナントは空室が多く、ラーメン店など飲食業からの引き合いが多少あるものの、事務所関係の引き合いはほとんどない。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・本来は歳末で、多少なりとも人出が多くなるものだが、今のところ街は静かで、一向に暮れの気配はない。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・11月からの暖冬で、防寒衣料及び暖房関連商材は点数、価格ともに大きくダウンし、鍋商材の不振も続いている。本来、冬場はあまり売れないペットボトル飲料が115%、すき焼き、しゃぶしゃぶの構成比が高くなる牛肉に関しては焼肉が108%と、例年にない傾向はあるが、全体をカバーするほどではない。所得が減り、普段の生活は切り詰めても付き合いは大事にするということの表れなのか、ギフト関係は健康油を中心に110%と非常に好調である。
	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・地元銀行が破たんした影響で、客が買い控えをしている。10～11月は宣伝をすればある程度中古車が売れたが、12月は新聞広告の掲載、展示会の開催、チラシ配布を行っても、極端に売行きが悪い。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・宿泊では、料金的な問い合わせが非常に多くなってきている。宴会に関しては、何とか忘年会は行っても新年会を行うかは未定だという客が多く、毎年大規模な新年会を行っていたところが4～5件取消となっており、非常に厳しい。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・地元銀行の破たんにより、会社関係を中心に忘年会が激減している。例年であれば、忘年会でタクシーチケットが使われていたが、今年はほとんどなく、売上が減少している。
企業動向	良くなっている	-	-

関連	やや良くなっている	一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・年末特有の忙しさもあるが、全体的に受注量が増加傾向であり、新規の引き合いも活発である。	
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月は思いも寄らぬ飛び込みの仕事が多く入り、売上がかなり増加している。	
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・フルモデルチェンジした軽自動車の販売が本格化し、3か月前と比べ、売上は5%ほど増加している。前年比での売上は横ばいであるが、コストダウン、原価引下げの分を販売量の増加で吸収した形であり、良くなってきている。	
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・前年同時期と比べ、販売促進広告の反響が良い。特に付加価値の高い商品の動きが活発で、外食、物販とも好調である。求人広告の掲載数は横ばいであるが、人員不足感があるのか、採用充足後の連続掲載も多い。	
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・12月は量販店の売上、百貨店のお歳暮が好調だと聞いている。今月のチラシの出稿量は前年比104%で、年間を通じて101%と、3年ぶりに前年を上回る見込みである。	
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・受注量や生産高が増えて活気が出てきたという取引先が多くなり、それに伴い価格は依然として厳しいものの、引き合い、仕事量が増加傾向にある。中でも重機関連の業況は良くなっている。	
変わらない		食料品製造業（営業統括）	取引先の様子	・ポージョレーヌーボーの輸入品は比較的順調であったが、国産品は前年に比べ数量も抑え気味である上に、荷動きが鈍ってきている。	
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の取引先は仕事が入ってきていると楽観的であるが、自動車関連以外の中堅企業の中には、親会社が中国に工場を作ってしまったために注文が来なくなり、廃業したところもある。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年通りの動向である。特注品ではなく、従来の店頭商品の受注量がやや動き出している。	
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・期末と排ガス規制の関係で受注が多く忙しかった3か月前と比べるとやや悪いが、全体的にみると変わらない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・見積の引き合いが依然として非常に少ない。販売価格、受注価格も低迷している。半導体、材料関連の一部で仕事が増加してきているという話がある。	
やや悪くなっている		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	取引先の様子	・前年と比べ、クリスマスセールの売行きは点数、金額とも悪い。一部高額品が売れたことから全体の金額は増加しているが、それを除くと実質的には売上ダウンである。低価格品はセールの影響があったが、高額品はクリスマス効果が出ていない。	
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・自動車、電機産業等の製造業からのコマースは横ばいであるが、商業、通信業、サービス業は依然として減少傾向にある。年末年始にかけてのイベント受注もない。	
	悪くなっている	建設業（総務担当）	それ以外	・取引金融機関の地元銀行が破たんし、数千万円出資していたので、損失が発生することとなっている。	
雇用関連	良くなっている	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・電子関係の部品製造工場などでの生産量の増加は3月ごろまで続く見込みで、あわせて求人数も増加している。住宅関連は一進一退である。求人数は増加しているが、求職者数は少ない。
			人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・建設関連の一部では、地元の物件が不足していることから、都心や大都市周辺の工事受注へとシフトしている。そのため、地元では人手不足が生じ、派遣要請の動きがあるが、要求される専門性から、対応できる登録者は少ない。一部の住宅資材メーカーから、機械製図の派遣要請もあるが、スキルを満たす人材を探すことは難しい。
			職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数とも着実に増加傾向にあり、特に平成15年11月の有効求人倍率は1.38と、平成5年2月以来の1.3倍台になっている。
			変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子

	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・依然として建設業、特に土木関係が悪く、年末には近隣の数社が倒産している。厳しい状況の中、製造業の一部に好調な中堅企業も出てきている。
	新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	周辺企業の様子	・毎年取引のある広告スポンサーからの出稿量が減少している。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業の回復が目立つが、サービス、建設業を中心に好材料が見当たらない。サービス業の年末商戦は、完全に不発に終わっている。コンピューターソフトの開発に関する求人も、製造業の製品組込ソフトの開発は目立つが、事務系ソフトではWeb開発が目立つ程度で総じて低迷しており、会社の基幹業務のような大きなソフト開発は見当たらない。
やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・忙しい会社が少なく、年明けからの仕事がない企業もあるので、あまり良くない。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・11月に大規模なショッピングセンターの開店、地元銀行の破たんがあり、12月に入ってから求人広告は激減している。現在受注している1月初旬に関しても同様で、周辺エリアは悪い方向に向かっている。
	学校 [ 短期大学 ]（就職担当）	求人数の動き	・情報、介護などの専門職や、一般機械、精密機械などの製造業及び建設業などで専門性を要する営業職の求人は根強いが、多くの学生が希望する事務、販売職は前年の約50%しかない。
悪くなっている	-	-	-